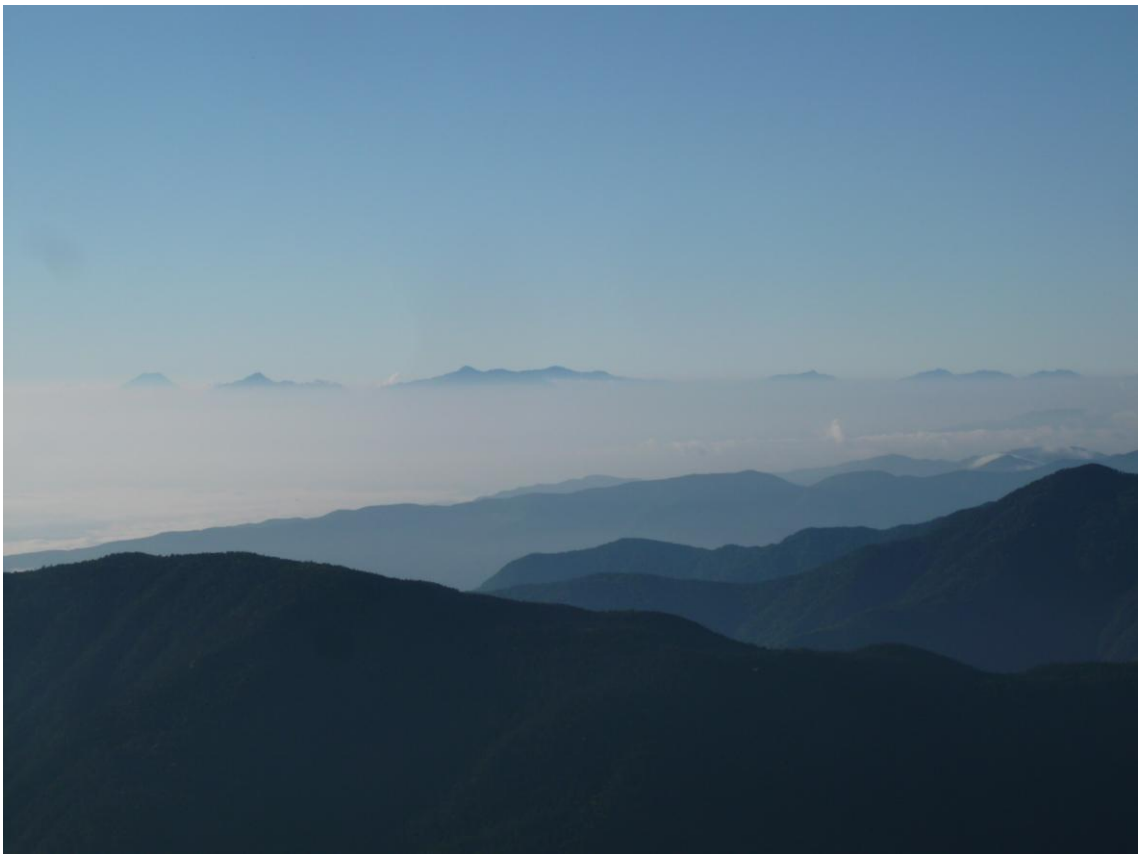




5・6のコルから見える奥又白池。



奥又白池遠望。



南アルプスの名峰が島のように雲海に浮かぶ。左端から富士山、甲斐駒ヶ岳、北岳と間ノ岳、塩見岳、荒川岳、赤石岳、聖岳。



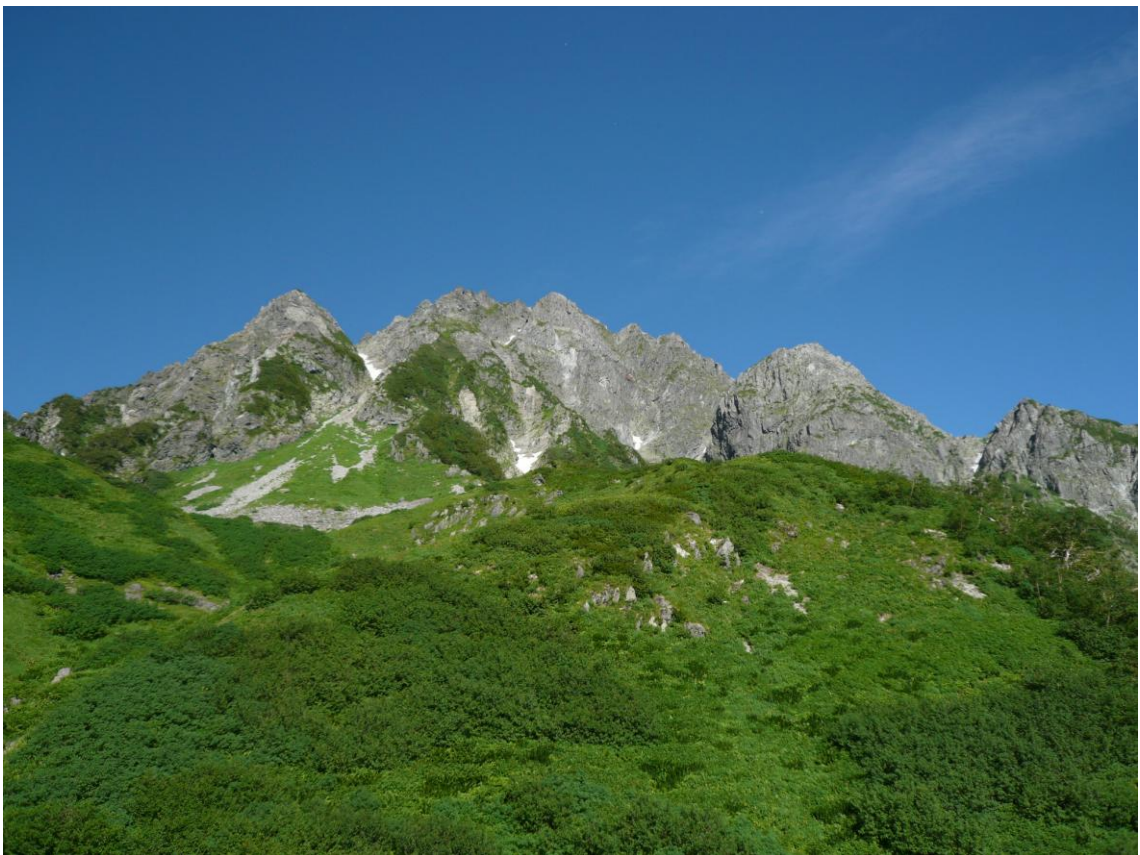
5・6 コル～奥又白池間の一番の難所。この左側は切れ落ちている。ザレで滑りやすく、恐怖感を感じる。



別天地の奥又白池。



湖面に映る大きなダケカンバの樹が「宝の樹」（写真左側）。



池から見上げる前穂高岳の岩峰群。井上靖の『氷壁』の舞台。



奥又白池に映る逆さ前穂高。



茶臼の頭の脇のコルから浅いレンゼを大きく下り、明神岳東稜（向こうの稜線）に大きく登り返す。
奥の山は霞沢岳。



下又白沢F 5の滝のすぐ上まで下り、明神岳東稜へ登り返す。雪渓は傾斜がかなりきついうえにクレバスだらけでトラバースできない。F 5の滝は写真左側で扇形のガレ場が収束しているところ（雪渓が切れているところのちょっと下）。



猿田隊長のアドバイスでは、写真右上の岩壁の下で東稜に出る（実際はもっと左側を登ってしまった）。稜線にでる直前の樹林帯は、写真のイメージよりもかなり険しい急斜面（というよりも崖）で登りにくい。



急斜面を、樹の枝を頼りによじ登る。



茶臼の頭を振り返る。正面のルンゼを下った。F 5は写真のずっと右下。



明神岳東稜からひょうたん池（写真中央）を見下ろす。東稜も見事なお花畑が広がる。



ひょうたん池



ひょうたん池直下のみごとなお花畑





コルにひょうたん池がある



向こうのガレ場の手前にある樹林帯は藪こぎ。向こうのピークは宮川尾根の 1944m 地点。
その下に梓川にかかる明神橋も見える（写真では分かりにくいですが）。